

大阪府工業指数2023年4月【速報】

毎月の生産・出荷・在庫の推移

1 概況

(1) 生産指数…91.0 前月比▲6.3% 2か月ぶりの低下(季節調整済指数)

業種別にみると、化学工業、電気・情報通信機械工業など7業種が低下し、輸送機械工業、窯業・土石製品工業など7業種が上昇した。

品目別にみると、医薬品、超硬工具等が低下した。

また、前年同月比(原指数)は、▲2.5%と2か月ぶりの低下となった。

(2) 出荷指数…89.1 前月比▲2.2% 2か月ぶりの低下(季節調整済指数)

業種別にみると、化学工業、金属製品工業など7業種が低下し、輸送機械工業、生産用機械工業など7業種が上昇した。

品目別にみると、医薬品、鉄道車両等が低下した。

また、前年同月比(原指数)は、▲7.2%と8か月連続の低下となった。

(3) 在庫指数…105.2 前月比▲0.9% 4か月連続の低下(季節調整済指数)

業種別にみると、輸送機械工業、鉄鋼・非鉄金属工業など7業種が低下し、その他工業の1業種が横ばいとなり、化学工業、金属製品工業など5業種が上昇した。

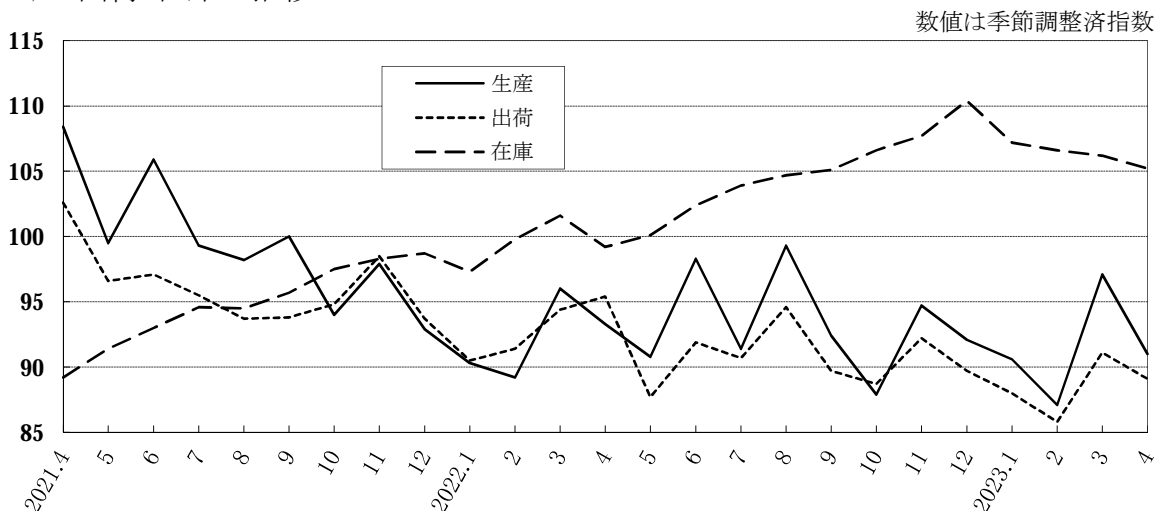
品目別にみると、セパレート形エアコン(室外)、陸上移動通信装置等が低下した。

また、前年同月比(原指数)は、6.1%と20か月連続の上昇となった。

2015年=100

区 分		季節調整済指数		原 指 数	
			前月比(%)		前年同月比(%)
生 産	2023年3月	97.1	11.5	105.2	1.2
	2023年4月	91.0	▲6.3	91.3	▲2.5
出 荷	2023年3月	91.1	6.2	101.5	▲3.5
	2023年4月	89.1	▲2.2	87.0	▲7.2
在 庫	2023年3月	106.2	▲0.4	102.9	4.6
	2023年4月	105.2	▲0.9	105.0	6.1

生産・出荷・在庫の推移



2 業種分類別・品目別動向(寄与度順)

(1)生産

前月比

▲ 6.3%

上昇 7業種
低下 7業種
横ばい 0業種

計 14業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	輸送機械工業	1.365	27.0	鉄道車両部品、シャシー・車体部品
	窯業・土石製品工業	0.418	23.6	無アルカリガラス基板、光学用ガラス素地
	電子部品・デバイス工業	0.234	29.5	アクティブ型液晶パネル
	汎用・業務用機械工業	0.171	2.6	試験機、ポンプ
	鉄鋼・非鉄金属工業	0.065	1.1	アルミニウムはく、铸铁管
	食料品工業	0.057	0.6	ウイスキー、清涼飲料(除.炭酸飲料)
	プラスチック製品工業	0.036	1.0	プラスチック製フィルム・シート、プラスチック製日用品・雑貨
	その他の上昇した品目			金属工作専用機【生産用機械工業】、アーク溶接機【電気・情報通信機械工業】
低下	化学工業	▲6.857	▲23.0	医薬品、アンモニア
	電気・情報通信機械工業	▲0.726	▲7.3	セパレート形エアコン(室外)、非標準変圧器
	生産用機械工業	▲0.433	▲3.9	超硬工具、ショベル系掘削機械
	石油・石炭製品工業	▲0.103	▲7.6	灯油、アスファルト
	金属製品工業	▲0.093	▲1.3	飲料用アルミニウム缶、電気溶接棒
	その他工業	▲0.076	▲1.4	繊維板・パーティクルボード、ニット製繊維製品(下着・補整着・寝着類・靴下)
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.002	▲0.1	段ボールシート
	その他の低下した品目			鉄道車両【輸送機械工業】、チョコレート【食料品工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

寄与度上位10品目

区分	順位	品目	業種分類
上昇	1	鉄道車両部品	輸送機械工業
	2	無アルカリガラス基板	窯業・土石製品工業
	3	ウイスキー	食料品工業
	4	アクティブ型液晶パネル	電子部品・デバイス工業
	5	金属工作専用機	生産用機械工業
	6	アーク溶接機	電気・情報通信機械工業
	7	化学機械	生産用機械工業
	8	バンディングマシン	生産用機械工業
	9	シャシー・車体部品	輸送機械工業
	10	試験機	汎用・業務用機械工業
低下	1	医薬品	化学工業
	2	超硬工具	生産用機械工業
	3	セパレート形エアコン(室外)	電気・情報通信機械工業
	4	ショベル系掘削機械	生産用機械工業
	5	鉄道車両	輸送機械工業
	6	チョコレート	食料品工業
	7	非標準変圧器	電気・情報通信機械工業
	8	飲料用アルミニウム缶	金属製品工業
	9	機械プレス	生産用機械工業
	10	アンモニア	化学工業

(2) 出荷

前月比

▲ 2.2%

上昇 7 業種
 低下 7 業種
 横ばい 0 業種

計 14 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	輸送機械工業	1.122	14.9	鉄道車両部品、シャシー・車体部品
	生産用機械工業	0.507	5.1	ショベル系掘削機械、化学機械
	食料品工業	0.496	5.6	ビール・発泡酒、ウイスキー
	汎用・業務用機械工業	0.285	4.3	汎用内燃機関、試験機
	鉄鋼・非鉄金属工業	0.280	2.4	銅荒引線、アルミニウムはく
	窯業・土石製品工業	0.207	15.6	無アルカリガラス基板、光学用ガラス素地
	プラスチック製品工業	0.071	1.7	プラスチック製機械器具部品、 プラスチック製建材
	その他の上昇した品目			金属工作専用機【生産用機械工業】、 化粧品【化学工業】
低下	化学工業	▲3.956	▲21.0	医薬品、フェノール
	金属製品工業	▲0.229	▲2.8	橋りょう、鉄塔
	石油・石炭製品工業	▲0.182	▲2.2	軽油、ガソリン
	その他工業	▲0.089	▲1.6	ニット製繊維製品(下着・補整着・寝着類・靴下)、 マーキングペン
	電気・情報通信機械工業	▲0.044	▲0.6	セパレート形エアコン(室外)、非標準変圧器
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.043	▲3.0	衛生用紙
	電子部品・デバイス工業	▲0.011	▲2.3	電子回路基板
	その他の低下した品目			鉄道車両【輸送機械工業】、 超硬工具【生産用機械工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

(3) 在庫

前月比

▲ 0.9%

上昇 5 業種
 低下 7 業種
 横ばい 1 業種

計 13 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	化学工業	0.249	1.5	アンモニア、合成洗剤
	金属製品工業	0.207	2.0	産業用アルミニウム製品、作業工具
	生産用機械工業	0.195	11.4	装輪式トラクタ
	パルプ・紙・紙加工品工業	0.154	10.6	段ボール原紙
	窯業・土石製品工業	0.027	2.4	光学用ガラス素地、 ファインセラミックス(構造材)
	その他の上昇した品目			乾電池【電気・情報通信機械工業】、 軽油【石油・石炭製品工業】
横ばい	その他工業	0.000	0.0	—
低下	輸送機械工業	▲0.271	▲15.3	電動アシスト自転車
	鉄鋼・非鉄金属工業	▲0.229	▲1.1	鉄鋼切断品、鋼半製品
	電気・情報通信機械工業	▲0.137	▲0.7	セパレート形エアコン(室外)、 陸上移動通信装置
	石油・石炭製品工業	▲0.101	▲3.3	灯油、重油
	プラスチック製品工業	▲0.097	▲3.2	プラスチック製容器(中空成形)、 プラスチック製フィルム・シート
	食料品工業	▲0.012	▲0.3	チョコレート
	汎用・業務用機械工業	▲0.008	▲0.1	汎用内燃機関、 冷凍・冷蔵ユニット(除、輸送機械用)
その他の低下した品目			界面活性剤【化学工業】、 蛍光ランプ【電気・情報通信機械工業】	

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

3 業種分類別の推移

数値は季節調整済指数
2015年=100
 生産 ————
 出荷
 在庫 - - - - -

汎用・業務用機械工業



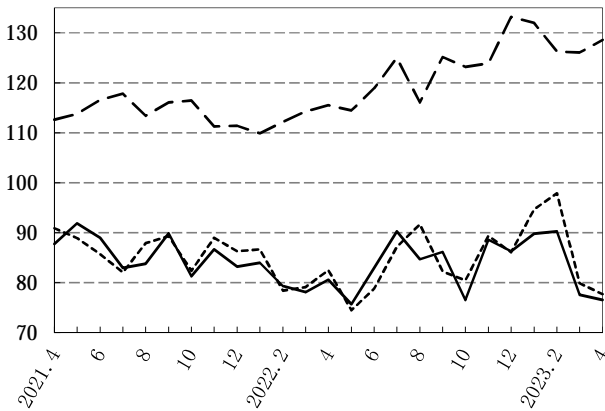
鉄鋼・非鉄金属工業



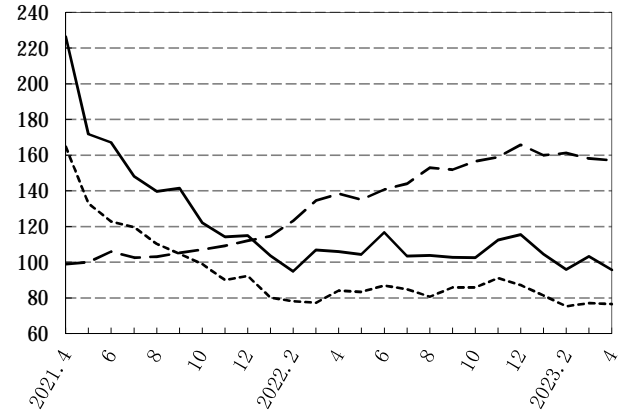
電子部品・デバイス工業



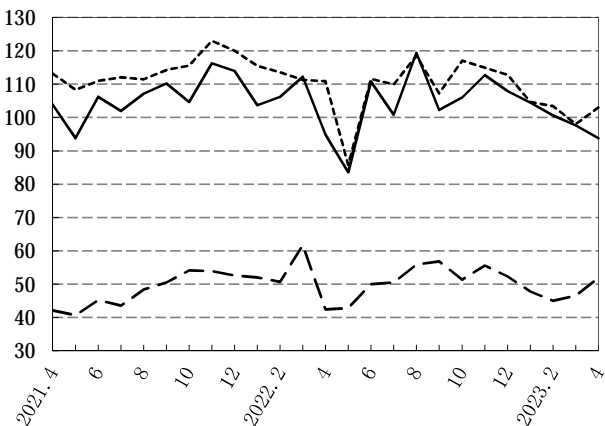
金属製品工業



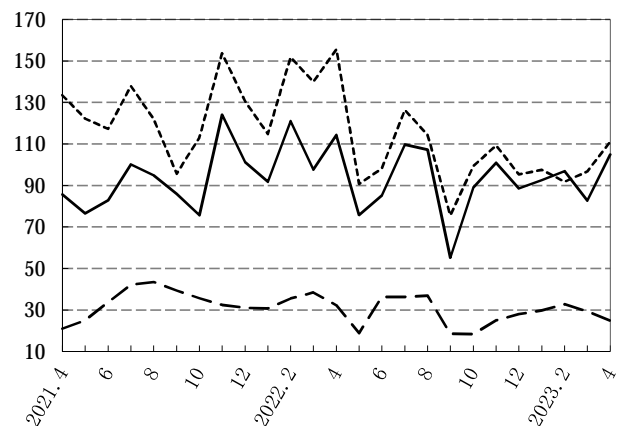
電気・情報通信機械工業

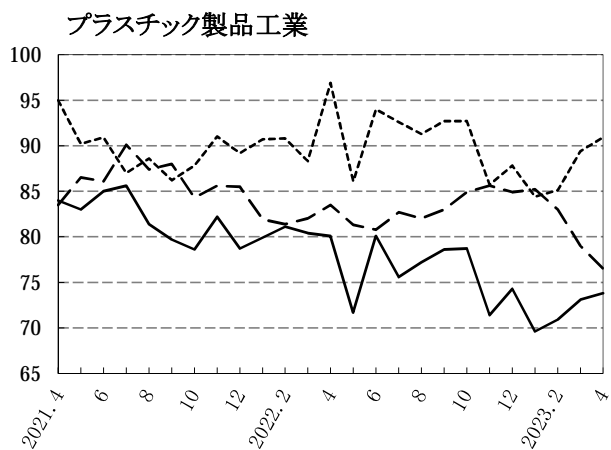
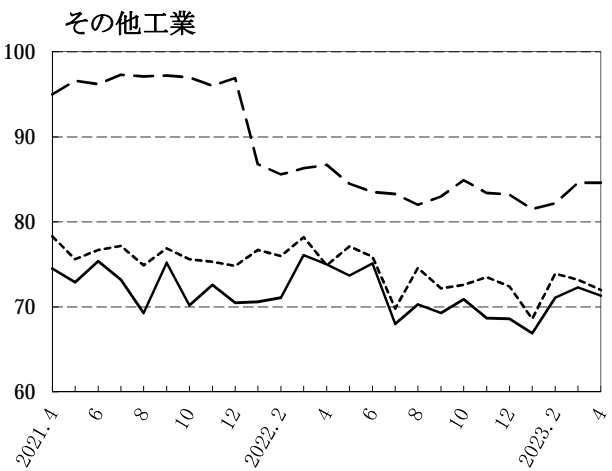
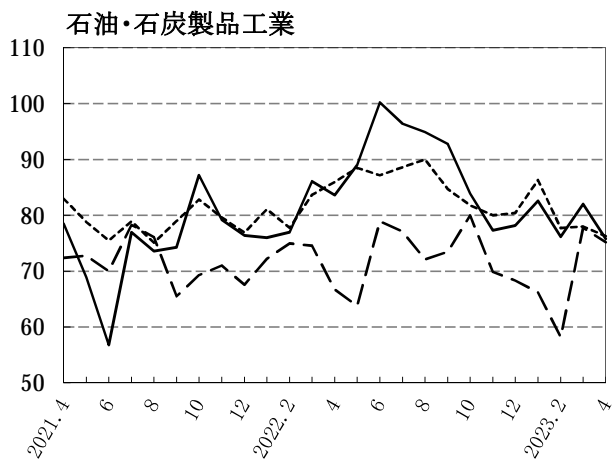
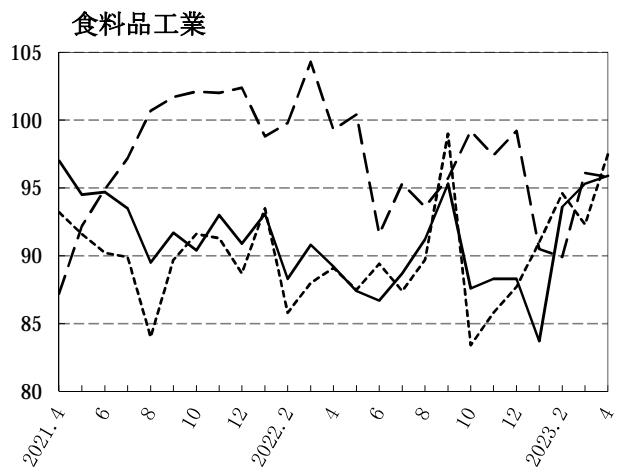
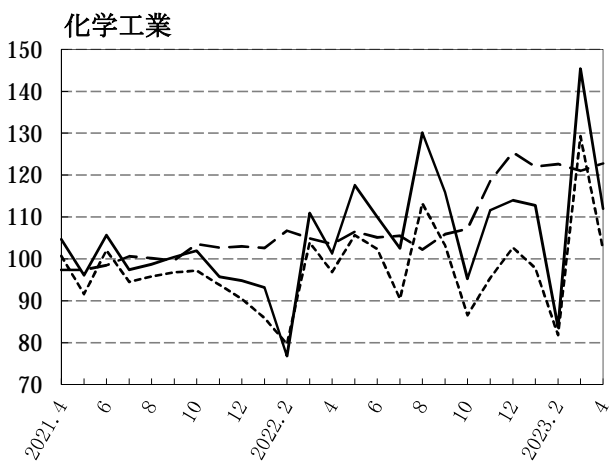
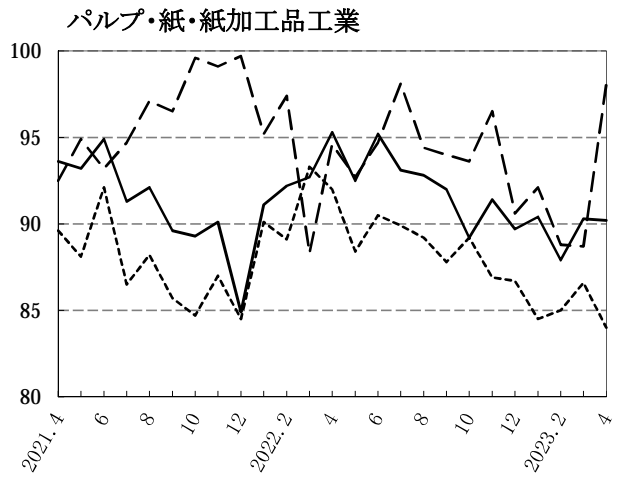
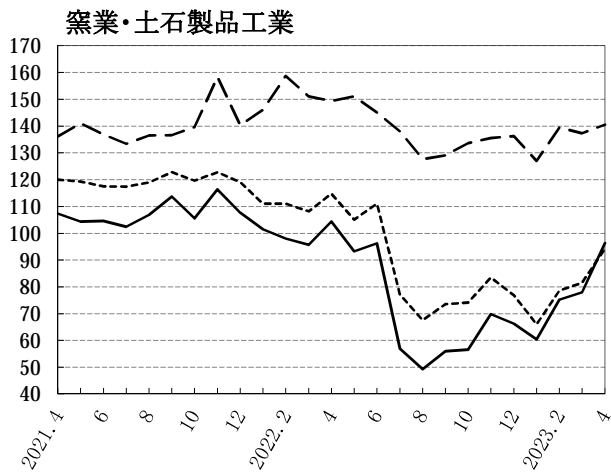


生産用機械工業



輸送機械工業





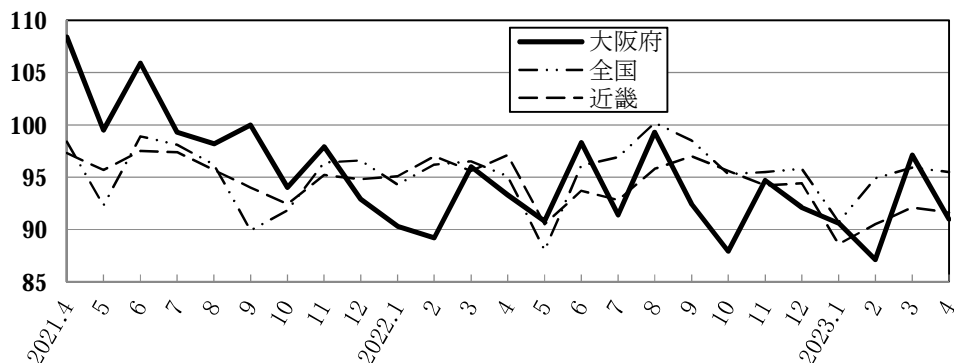
4 全国・近畿の状況(速報)

2015年=100

	大阪府		全国		近畿	
	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)
生産	91.0	▲ 6.3	95.5	▲ 0.4	91.6	▲ 0.5
出荷	89.1	▲ 2.2	93.0	▲ 0.4	90.6	▲ 2.4
在庫	105.2	▲ 0.9	104.0	0.3	104.6	0.9

注:「全国」は経済産業省、「近畿」は近畿経済産業局が、それぞれ公表したもの

生産指数の推移



1 基準年

基準時及びウェイト算定年は、**2015年(平成27年)**です。

2015年(平成27年)基準の指数値は、平成**31年**1月速報(**2019年3月29日**公表)から公表しています。

2 数値・符号

(1)掲載している指数値は、当月は速報値、前月は確報値です。

(2)本文中及び統計表等で用いる符号については、次のとおりです。

「▲」…… 負数であることを示す。

3 季節調整

原指数には季節変動(操業日数や決算時期による生産増減、気候や社会風習(中元、歳暮など)による需給変動など1年間でほぼ規則的に繰り返される動き)が含まれており、原指数から季節変動分を除去したものを季節調整済指数といいます。

前年同月比や年単位の動向をみる場合には原指数、前月比や足下の動向をみる場合には季節調整済指数を利用します。

4 寄与度

ある業種(品目)の増減が業種(品目)トータルでの生産指数、出荷指数、在庫指数の伸び率を何ポイント押し上げ(押し下げ)ているかを示す数値です。

$$\text{寄与度} = \frac{\text{今月のA業種(品目)の指数} - \text{前月のA業種(品目)の指数}}{\text{前月の業種(品目)トータルの指数}} \times \frac{\text{A業種(品目)のウェイト}}{\text{業種(品目)トータルのウェイト}} \times 100$$

※経済産業省生産動態統計調査など指数値の計算に利用するデータについて、

2021年の実数値が補正されたため、同年の指数値を補正しました(年間補正)。

2022年7月速報(2022年9月30日公表)から補正後の指数値を用いています。

年間補正は毎年実施しますので、**2022年1月**以降の指数値も今後変わることがあります。

▼詳細な統計データや工業指数については、大阪府ホームページをご覧ください。

大阪府ホームページ「大阪府工業指数」 <https://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/iip/>

▼本資料についての問合せは下記へお願いします。

大阪府総務部統計課 分析・利活用促進グループ 工業指数担当 TEL:06(6210)9195(直通)